

市指定

所在地：今田町下小野原

ずし 厨子

内部に千手観音菩薩が安置されている。厨子内部右側面には「本尊移徙康応元年己巳八月七日」の墨書があり、西暦1389年、南北朝時代末期に本尊が和田寺山山頂から和田谷に移された経緯がわかる。

屋根は二段板葺寄棟造で、斗拱ときょうのない非常に簡素な造りとなっている。柱、土台、扉の閉め合わせには大面取が施されている。後世の補修が認められないこと、製作年代が明らかなことから、貴重な遺品である。

和田寺所在。

正面柱間104cm、側面64cm、
棟高190cm。

